

令和6年度 学校教育自己診断結果（教職員） n = 23

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R5年度	比較
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	91.3%	全体 65% 26% 4%	89.2%	2.1
2 教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	87.0%	全体 48% 39% 9%	86.1%	0.8
3 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	95.7%	全体 35% 61% 4%	83.3%	12.3
4 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	90.9%	全体 64% 27% 9%	86.1%	4.8
5 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	95.7%	全体 74% 22% 0%	78.4%	17.3
6 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	100.0%	全体 74% 26% 0%	89.2%	10.8
7 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、学校として迅速に対応することができる。	100.0%	全体 70% 30% 0%	88.9%	11.1
8 学校は、生徒指導において、家庭との連携ができています。	100.0%	全体 87% 13% 0%	94.4%	5.6
9 学校は、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、体系的なキャリア教育を行っている。	87.0%	全体 26% 61% 13%	83.8%	3.2
10 生徒一人ひとりが、興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	95.7%	全体 48% 48% 4%	88.6%	7.1
11 ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	91.3%	全体 43% 48% 9%	80.6%	10.7
12 学校行事が、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	95.7%	全体 57% 39% 0%	86.5%	9.2
13 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	100.0%	全体 48% 52% 0%	86.1%	13.9
14 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	95.7%	全体 65% 30% 4%	91.9%	3.8
15 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	100.0%	全体 77% 23% 0%	73.0%	27.0
16 学校運営に教職員の意見が反映されている。	100.0%	全体 61% 39% 0%	75.0%	25.0
17 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	87.0%	全体 52% 35% 9%	66.7%	20.3
18 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	82.6%	全体 48% 35% 13%	56.8%	25.9
19 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	95.7%	全体 43% 52% 0%	78.4%	17.3
20 教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	91.3%	全体 43% 48% 4%	73.0%	18.3
21 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	87.0%	全体 26% 61% 13%	83.8%	3.2
22 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	87.0%	全体 26% 61% 9%	81.1%	5.9
23 教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。	91.3%	全体 30% 61% 9%	56.8%	34.5
24 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	95.7%	全体 43% 52% 4%	91.9%	3.8
25 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	95.7%	全体 39% 57% 4%	89.2%	6.5
26 保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	95.7%	全体 39% 57% 4%	73.0%	22.7
27 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	100.0%	全体 43% 57% 0%	(新設)	